

放射能対策を2年間延長します

計画期間を平成26年3月までとする「我孫子市放射能対策総合計画(当初計画)」に基づき、これまで放射線量測定や食品検査などさまざまな放射能対策に取り組んできました。しかし、放射性物質による健康への影響など放射能に対する市民の不安は消えず、対策を継続する必要があることから、このたび「我孫子市第2次放射能対策総合計画」(計画期間：平成26年4月～28年3月)を策定しました。

策定にあたっては、昨年11月の市政ふれあい懇談会で骨子を提示し、今年1月に実施したパブリックコメントで計画案を公表しました。皆さんからいただいた意見を踏まえ、2月に市長を委員長とする放射能対策会議で計画を決定しました。

主な施策

●食の安全確保・不安の解消

市の所有する簡易型測定機器などを用いた、給食食材や我孫子市産農産物、市民が持ち込む食品・飲料物の放射性物質検査を継続します。小・中学校、保育園の給食は、安全・安心のため、引き続き簡易型測定機器と、より検出精度の高いゲルマニウム半導体検出器を併用して検査を行ってまいります。

●放射線量の測定と除染

子どもが多く利用する施設を中心に放射線量の測定を継続し、局所的に放射線量が基準値以上の箇所について除染などを行ってまいります。また、手賀沼周辺や焼却灰が一時保管されている手賀沼終末処理場周辺などの測定を継続します。

●健康への影響の実態把握

積算線量計による年間放射線量の測定やホールボディカウンタ測定費用の一部助成、小・中学校の健康診断における甲状腺の視診・触診を継続し、健康への影響の実態把握に努めます。また、国に対し、特に子どもと妊婦に配慮した健康管理と医療施策に関して、「原発事故子ども・被災者支援法」に基づく支援を行うよう強く求めていきます。



●手賀沼終末処理場における焼却灰一時保管の対応

ごみ焼却灰の保管期限(平成27年3月)を厳守するよう、引き続き千葉県や近隣市に強く要請してまいります。また、一時保管されている焼却灰の飛散・流失防止のため、さらなる安全対策を千葉県に強く働きかけてまいります。さらに、国に対しては、指定廃棄物の最終処分場の早期確保を近隣市と連携して求めてまいります。



▲環境省(右:井上環境副大臣)へ要望書を提出する星野市長

放射能対策に要した費用は 国・東京電力に請求

昨年8月に東京電力に賠償請求した約2億4500万円のうち、昨年11月に約300万円の支払いがありました。また、本年3月中に追加で焼却灰処理等関係費用約1億5300万円が支払われる予定です。未払い分については、引き続き東京電力に賠償請求を行ってまいります。



▲子どもが多く利用する施設の放射線量測定

☎ 放射能対策室 ☎7185-2495

除染実施計画が完了!

除染実施計画に位置づけた施設の除染が、平成26年1月までに完了しました。平成23年度から子どもが多く利用する施設の除染を優先して実施し、各施設で国の基準よりも厳しく設定した市の独自基準を達成しました。

●小・中学校、公立保育園の除染前後の放射線量
いずれも校庭・園庭の中央における地表から高さ5cmの測定値
単位…マイクロシーベルト/時

施設名	除染前 (平成23年6~7月)	除染後 (平成26年1月)
我孫子第一小	0.36	0.04
我孫子第二小	0.30	0.05
我孫子第三小	0.32	0.04
我孫子第四小	0.27	0.06
湖北小	0.18	0.03
布佐小	0.28	0.03
湖北台西小	0.22	0.04
高野山小	0.46	0.04
根戸小	0.35	0.05
湖北台東小	0.22	0.04
新木小	0.26	0.10
並木小	0.51	0.04
布佐南小	0.30	0.06
我孫子中	0.29	0.03
湖北中	0.25	0.10
布佐中	0.29	0.08
湖北台中	0.18	0.07
久寺家中	0.34	0.04
白山中	0.38	0.05
根戸保育園	0.51	0.11※
つくし野保育園	0.40	0.10
寿保育園	0.39	0.10
緑保育園	0.30	0.08
並木保育園	0.44	0.07
東あびこ保育園	0.26	0.05
湖北台保育園	0.26	0.11

※平成25年3月6日の測定値。園舎の建て替え工事に伴い、以降は園庭の測定を休止中

☎ 放射能対策室 ☎7185-2495

手賀沼終末処理場の焼却灰一時保管状況

一時保管施設の安全対策を強化

千葉県は、手賀沼終末処理場の仮設倉庫内に保管されている8000ベクレル/kgを超える下水道汚泥焼却灰について、焼却灰の飛散・流出防止のための対策を4月から実施する予定です。現在フレキシブルコンテナに詰められている焼却灰を新たな保管容器に入れて二重構造とし、開口部を接着剤により密閉します。

手賀沼終末処理場周辺の放射線量(平成26年2月3日測定結果)

測定箇所	放射線量	測定箇所	放射線量
西門	0.118	東門	0.111
処理場北側	0.122	手賀川側	0.116

測定高…1メートル 単位…マイクロシーベルト/時

下水道汚泥焼却灰保管状況(平成26年1月末現在)

下水道汚泥焼却灰保管総量	約1600トン
うち8000ベクレル/kgを超える指定廃棄物	約550トン

※8000ベクレル/kg以下の下水道汚泥焼却灰は、平成25年2月から搬出処理が行われています

☎ 下水道課 ☎7185-1498

ホールボディカウンタ測定結果(平成24年4月1日~平成26年2月21日)

	測定者数 (人)	放射性セシウム137(人)		放射性セシウム134(人)		検出された方の預託実効線量		
		検出せず	検出	検出せず	検出	0.1mSv未満	0.1~1mSv未満	1mSv以上
妊婦	14	13	1(1)	13	1(1)	1(1)	-	-
乳児の代理者	9	9	0	9	0	-	-	-
乳児(0歳)	2	2	0	2	0	-	-	-
幼児(1歳以上就学前)	148	144	4(5)	148	0	4(5)	-	-
小学生	139	136	3(7)	139	0	3(7)	-	-
中学生	16	15	1(1)	16	0	1(1)	-	-
高校生相当	1	1	0	1	0	-	-	-
合計	329	320	9(14)	328	1(1)	9(14)	-	-

「検出せず」とは、測定機器の「検出限界値以下」を表しています。また、検出限界値は、被測定者の体重、年齢、測定時間等の条件によって異なります。

【預託実効線量】体内に取り込まれた放射性物質により、長期間に人体が受ける内部被ばくの影響を評価する基準として、摂取後、大人は50年間、子どもは70歳になるまでに受ける線量を最初の1年間で受けた(預託)として計算される量です。○14人から、放射性セシウム137(3.59~8.46ベクレル/kg)または134(4.43ベクレル/kg)が検出されましたが、預託実効線量はいずれも0.1ミリシーベルト未満でした。○()内の数字は、平成24年度に放射性物質が検出された方の数です。そのうち5人は再測定の結果いずれも放射性物質は検出されなかったため、「検出せず」の人数に含めています。

☎ 健康づくり支援課(保健センター) ☎7185-1126

【放射線量測定器の貸し出し受付中】市で放射線量測定器の貸し出しを行っています。平日月曜日~木曜日は1泊2日、金曜日など休日・祝日はをさむ場合は休日明けの開庁日まで貸し出し可能です。お電話でのご予約が可能です。※貸し出しの際は免許証などの本人確認書類が必要です。詳しくはホームページで。

予約受付・☎ 放射能対策室 ☎7185-2495